







EPOC/CPOTレクチャー形式セミナー



M R N A EEE

の現状と根拠



mRNAワクチン開発者の立場から



田中夏樹

第一三共株式会社 研究開発研究開発本部 研究開発企画推進統括部 研究開発ポートフォリオ企画部 プロジェクトリードグループ

新型コロナウイルスmRNAワクチンの研究開発の実際

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、重症急性呼吸器症候群コロナウイルス2 (SARS-CoV-2) による感染症であり、2019年12月に中国湖北省武漢市の原因不明の 肺炎の集団発生から始まり、パンデミックに拡大した。2020年1月には、日本国内外 の製薬会社によりCOVID-19に対する治療薬やワクチンの開発が始められ、2021年2月 には、mRNAをlipid nanoparticle(LNP)で封入した、世界初のmRNAワクチンが承 認された。我々も2023年8月に初の国産mRNAワクチン(DS-5670)の国内製造販売承 認を取得、その後も変異株の流行状況に応じたDS-5670のワクチン抗原探索及び一変 承認取得を継続している。

本セミナーでは、COVID-19に対する新規mRNAワクチンの開発現場の実際を振り返る とともに、そこで感じた課題を紹介したい。

ARCALIS主催情報交換会(会場のみ) 18:00-19:00

(情報交換会の申込は10/17(金)まで、先着36名様)





会場

日本橋ライフサイエンスビルディング313会議室 東京都中央区日本橋本町2-3-11

問合せ: EPOC/CPOTセミナー事務局 🖂 cpot_seminar@ml.res.ncc.go.jp 🍙 https://cpot.ncc.go.jp/

